

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-233698

(43)Date of publication of application : 10.09.1993

(51)Int.Cl. G06F 15/40
 B41J 5/30
 G06F 15/20
 G06F 15/20

(21)Application number : 04-070104

(71)Applicant : NIPPON TELEGR & TELEPH CORP
 <NTT>

(22)Date of filing : 21.02.1992

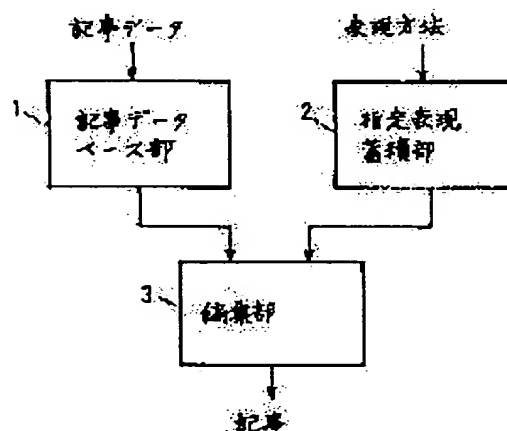
(72)Inventor : MATSUO HIROSHI
 ARIYAMA HIROTAKE

(54) EXPRESSING METHOD DESIGNATION TYPE ARTICLE EDITING METHOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To edit the articles of newspaper or the like customized for each distributing destination corresponding to an expressing method designated for each distributing destination.

CONSTITUTION: The field class of article data, priority and article contents for each expression class are registered on an article data base 1 for each article data, and expression class selection information for each field class designated for each reader is stored in a designated expression storage part 2. An editing part 3 extracts the article data in the expression class designated by this designated expression storage part 2 from the article data base part 1 for each field class, selects the article data while considering the amount and priority of respective article data according to the expression class selection information designated by the designated expression storage part 2 and generates articles by combining the selected article data. Thus, the reader can obtain the newspaper articles composed of the expressing method corresponding to the taste of that reader by registering the desired expressing method on the designated expression storage part 2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Pat nt number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-233698

(43)公開日 平成5年(1993)9月10日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/40		7060-5L		
B 4 1 J 5/30		A 8907-2C		
G 0 6 F 15/20	5 7 0	R 7343-5L		
	5 8 6	G 7343-5L		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-70104

(22)出願日 平成4年(1992)2月21日

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社
東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

(72)発明者 松尾 比呂志

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日
本電信電話株式会社内

(72)発明者 有山 裕孝

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日
本電信電話株式会社内

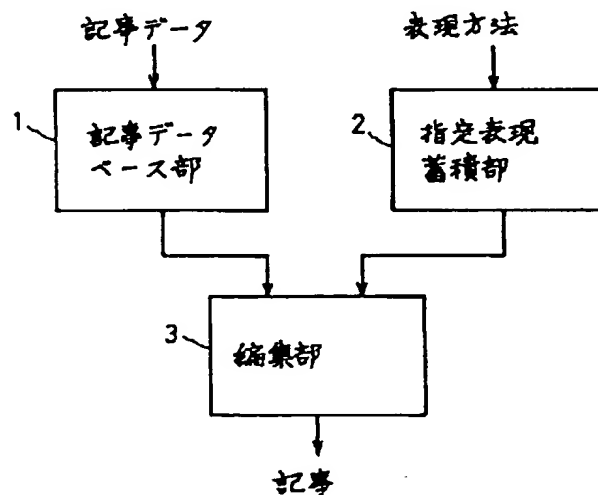
(74)代理人 弁理士 山川 政樹

(54)【発明の名称】 表現方法指定型記事編集方法

(57)【要約】

【目的】 配送先毎に指定された表現方法に応じて、配送先毎にカスタマイズされた新聞などの記事を編集するようにする。

【構成】 記事データ毎にその記事データの分野種別と優先度と表現種別毎の記事内容を記事データベース部1に登録しておき、読者毎に指定した分野種別毎の表現種別選択情報を指定表現蓄積部2に格納しておく。編集部3は、この指定表現蓄積部2で指定された表現種別の記事データを分野種別毎に記事データベース部1から抽出し、指定表現蓄積部2で指定された表現種別選択情報に従って、各記事データの分量と優先度を考慮しながら記事データを選択し、選択された記事データを組み合わせ、記事を生成する。これにより、読者が好みの表現方法を指定表現蓄積部2に登録しておくことによって、読者の好みに合った表現方法からなる新聞記事を得ることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 記事の構成要素となる記事データを組み合わせることによって記事の編集を行う方法において、各記事データ毎に該記事データの分野種別と優先度と表現種別毎の記事内容を登録しておく記事データベース部と、

各分野種別に対する表現種別の選択結果あるいはその割合を表す表現種別選択情報を格納しておく指定表現蓄積部と、記事データを組み合わせることで新聞記事を生成する記事編集部を備え、

前記指定表現蓄積部で指定された表現種別の記事データを分野種別毎に前記記事データベース部から抽出し、前記指定表現蓄積部で指定された表現種別選択情報に従って記事データを選択し、選択された記事データを組み合わせ、記事を生成することを特徴とする表現方法指定型記事編集方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、利用者の指定した表現方法に応じてカスタマイズした記事を生成する方法に関し、特に新聞記事の編集方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の新聞記事編集方法は、読者の居住地に応じて、地方面を変えるなどの編集方法があるが、読者の要求とは無関係に、発行元が記事データを決めて編集を行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このため、読者は、発行元が決めた画一的な新聞記事しか読めず、例えば、「見出しと写真だけを見たい」というような要求に対しては、読者自身が「見出し」と「写真」を探すという労力が強いされていた。また、通信回線を利用して新聞記事を送信する場合、読者にとって不必要な情報も同時に送信され、無駄な送信コストを必要としていた。

【0004】本発明は上述した従来の新聞編集方法の欠点を解決するため、配送先毎に指定された表現方法に応じて、配送先毎にカスタマイズされた新聞などの記事を編集する方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため本発明の記事編集方法は、記事データ毎にその記事データの分野種別と優先度と表現種別毎の記事内容を記事データベース部に登録しておくとともに、読者毎に指定した分野種別毎の表現種別選択情報を指定表現蓄積部に格納しておき、この指定表現蓄積部で指定された表現種別の記事データを分野種別毎に記事データベース部から抽出し、前記指定表現蓄積部で指定された表現種別選択情報に従って、各記事データの分量と優先度を考慮しながら記事データを選択し、選択された記事データを組み合わせ、記事を生成するようにしたものである。

【0006】

【作用】したがって本発明によれば、読者が好みの表現方法を指定表現蓄積部に登録しておくことによって、読者の好みに合った表現方法からなる新聞などの記事を得ることが可能となる。

【0007】

【実施例】図1は本発明の実施例の構成図であり、以下、図1において新聞記事を例に、本発明の実施例について説明する。記事データベース部1には、記事データ毎にその記事データの分野種別と表現種別と本体部とその本体部の分量と優先度とを登録しておく。例えば、図2は記事データベース部1に登録する情報の一例である。

【0008】図2では、分野種別として、“政治”、“経済”、“スポーツ”、“家庭”のように新聞記事を大分類した分類種別の中で、ID=001の記事データは、分類種別“経済”に属する記事データである。優先度は、新聞記事に掲載すべき優先順位を示す情報であり、掲載する記事全体の量が制限されているような場合に、どの記事を優先的に採用するかを決めるための情報である。表現種別として、“見出し”、“キーワード”、“写真”、“図表”、“リード文”、“本文”に分類した場合を示しており、各表現種別ごとに対応する記事内容を取り出すことができるよう格納されている。

【0009】指定表現蓄積部2には、各読者が指定した分野種別毎の表現種別選択情報を登録しておく。例えば、図3は指定表現蓄積部2に登録する情報の一例である。図3では、一人の読者の情報を示しており、他の読者についても同様である。図3の場合、表現種別選択情報として、各分野種別毎にどの表現種別を指定したかを表す情報を持っている場合について示している。例えば、分野種別“経済”では、“見出し”と“写真”の表現種別のみを指定したことを示しており、分野種別“スポーツ”では、表現種別“キーワード”を除くすべての表現種別を指定したことを示している。

【0010】図4は、編集部3の編集処理のフローチャートを示した図である。この編集部3では、指定表現蓄積部2の情報を参照しながら、各読者毎に指定された表現種別の記事データを分野種別毎に記事データベース部1から記事データを抽出する（ステップ40、41）。そして記事全体の分量が制限されている場合には、各記事データの優先度と分量を考慮して、記事データを選択し（ステップ42）、選択された記事データを組み合わせ、新聞記事を生成する（ステップ43）。

【0011】例えば、図3のような表現種別選択情報の場合、分野種別“経済”においては、ID=001の記事データからは“見出し”と“写真”の記事内容が取り出され、記事全体の分量に制限がないか余裕がある場合には、この記事内容が新聞記事として組み込まれる。優先度Aの記事データだけで全体の分量の制限を越える場

合には、ID=001の記事データの優先度はBであるため、この記事データは新聞記事として組み込まれない。

【0012】以上の処理を読者毎に繰り返すことによって、読者毎にカスタマイズされた新聞記事が生成される。ここで、指定表現蓄積部2のデータの登録は、通信回線を介して登録する方法でも良い。また編集部3で作成された新聞記事の出力は、紙に印刷する方法でも通信回線を介して、CRT表示、FAX出力、ディスクへの出力などいずれの方法でも良い。さらに記事データベース部1や指定表現蓄積部2で使用する分野種別は、上記の例で示した分類より細かい分類や大きな分類でも良い。

【0013】このように本実施例によると、配送先毎に指定された表現方法に応じて、配送先毎にカスタマイズされた新聞記事を編集できるため、次のような効果が得られる。

- (1) 記事の詳細に読む時間がない読者は、表現種別として“見出し”と“写真”のみを指定しておけば、その日に起こった事項を短時間で知ることができる。
- (2) スポーツ欄は非常に興味があるが、経済欄にはほとんど興味がない読者の場合には、分野種別“スポーツ欄”ではすべての表現種別を選択しておき、分野種別“経済欄”では表現種別“見出し”のみを指定することによって、スポーツ関係の記事は、見出し、写真、図表、リード文、本文を含む詳細な情報が記載され、経済関係の記事は見出しのみの簡単な情報が記載された新聞記事を得ることができる。
- (3) 新聞記事を通信回線を用いて伝送する場合には、読者が必要とする情報のみを送ることができるため、無駄

な通信コストを必要としなくて済む。

【0014】なお、本発明は、新聞記事の編集のみならず、週刊誌、雑誌などの記事の編集に適用しても同様なことは明かである。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、記事データ毎にその記事データの分野種別と優先度と表現種別毎の記事内容を記事データベース部に登録しておき、かつ読者毎に指定した分野種別毎の表現種別選択情報を指定表現蓄積部に格納しておき、この指定表現蓄積部で指定された表現種別の記事データを分野種別毎に記事データベース部から抽出し、その指定表現蓄積部で指定された表現種別選択情報に従って、各記事データの分量と優先度を考慮しながら記事データを選択し、選択された記事データを組み合わせて、記事を生成するため、読者が好みの表現方法を指定表現蓄積部に登録しておくことによって、読者の好みに合った表現方法からなる新聞などの記事を得ることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を説明する構成図である。

【図2】本実施例の記事データベース部に登録する情報の一例を示す図である。

【図3】本実施例の指定表現蓄積部に登録する情報の一例を示す図である。

【図4】本実施例の編集部の編集処理のフローチャートを示す図である。

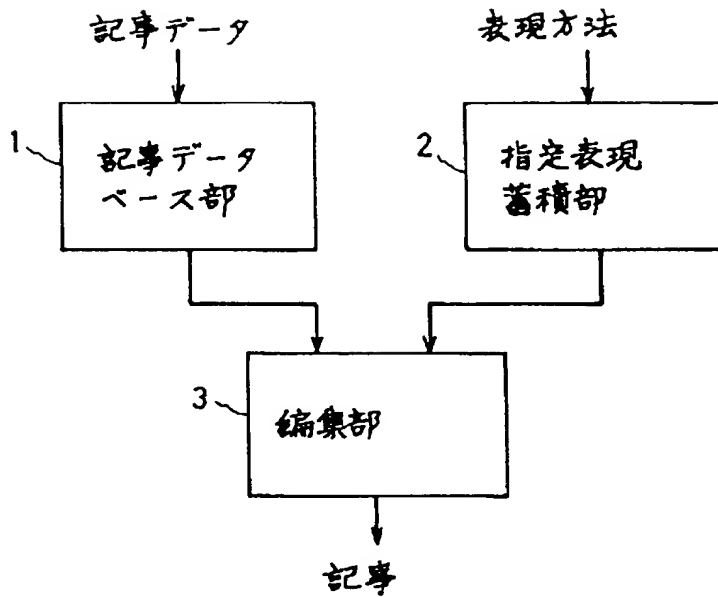
【符号の説明】

- 1 記事データベース部
- 2 指定表現蓄積部
- 3 編集部

【図2】

ID	001	分野種別	経済
		優先度	B
		記事内容	
表現種別	見出し	AAがBBを発売	
	キーワード	AA, BB, CC	
	写真	
	図表	
	リード文 (要約)	
	本文	

【図1】



【図3】

		分野種別			
		政治	経済	スポーツ	家庭
表現種別	見出し	○	○	○	○
	キーワード	○			
	写真	○	○	○	○
	図表	○		○	
	リード文 (要約)			○	
	本文			○	○

【図4】

